

# 御陵の風

令和2年1月発行 学校便り



文責:校長 藤井浩彦

## ◆3学期の始業式にあたり

いよいよ2020年、そして令和元年度3学期がスタートしました。始業式では、次の話をさせてもらいました。

みなさん、おはようございます。そして、明けましておめでとうございます！

まずは、今日、皆さんが大きな事故もなく登校してくれていることをうれしく思います。どんな冬休みだったでしょうか？3年生にとっては、とても苦しい冬休みだったかもしれません。それぞれ新しい年を迎え、今年目標を立てた人も多いと思います。

さて、今日3学期始業式の話は、「物事を成し遂げていくときに大切なこと」についてです。みなさんは、「アイザック・ニュートン」を知っていますか？そうです。木からりんごが落ちるのを見て、「万有引力の法則」を発見した人です。「偶然、発見した！」という風に言われることがありますが、実は違います。ニュートンは、世紀の発表になる「何かがある！」といつもいつも執念深く考えていたのです。いつか必ず大発見してみせるという目標と信念があったのです。だから、発見できたのです。ニュートンが、こんな言葉を残しています。

価値ある発見の要因とは、才能ではない。  
忍耐強く注意を払う力である。



この言葉からわかることは何か？

それは、物事を成し遂げるにはまず、自分自身が「こうしたい！こうなりたい！」という「しっかりとした目標と強い信念」を持っていること。そして、諦めずにこつこつと続けていく「忍耐強さと注意力」が重要であるということです。

「どうせ私なんて…」 「夢なんか…」と思う人もいるかもしれませんが、何でもいいのです。「なりたい自分」「成し遂げたいこと」を少しイメージして「目標」を立ててみるのが、まずは大事なことです。夢や目標は頑張る「エネルギー」になります。頑張るための「モチベーション（行動を起こす動機）」につながります。そして、その目標に向けて一歩を踏み出し少しずつ前に進んでいくことこそ大切です。また、その粘り強く頑張る過程がそのあとの人生にも大いに生かされます。何より、一生懸命なとき、人は輝きます！それこそが「生きている」証でもあります。

さあ、新しい年のスタートです。それぞれの目標に向かって皆さん一人一人が輝く年にしていきましょう！

新年を迎え、子ども達それぞれに「目標」や「今年頑張りたいこと」などを思い浮かべたのではないかと思います。その目標が達成できるよう、今年も御陵中学校職員一同が「ONE TEAM」で子ども達をサポートしていきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様、本年も本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ◆子ども達頑張っています！

1月11日(土)、博多の森競技場で、筑前地区新人駅伝大会が開催されました。本校からは、陸上部を中心とした合同女子チームでの出場でした。必死で走り、「心のたすき」をつなぐ子ども達は素敵でした。

同日、吹奏楽部はアクロス福岡で行われた「プラスフェスティバル」に出演しました。心を込めた演奏に、音の深みや伝えたい思いが伝わってきました。3年生が引退してからこの6ヶ月での成長を見せてもらいました。

さらに、男女バレーボールの大会、野球部の駅伝大会など、たくさんの大会が行われ御陵中の子ども達の輝く姿がたくさんありました。子ども達の今年の更なる活躍を期待しています。



【新人駅伝大会の様子】

## 『夢』

学校の詩 ⑧

私が中学生のときの夢は2つありました。その2つの夢にたどり着くまでもいろいろな夢がありました。幼少の頃は「仮面ライダーになること」、小学校にあがるととても勉強のできる友達の影響で「東大に行くこと」(東大というものが何かすらわかっていないのに親にはそう言ってたらしいです)、父親の知り合いのお寿司屋さんに行ったときの「いらっしゃい！」がとてもかっこよくて「板前になりたい」とも言っていました。家業「藤井商店(田舎にある小さな何でも屋)」を継ぎ社長となり世界各地に「藤井商店のチェーン店をつくりたい」とも思いました。テレビ番組の影響で「医者になりたい」とも思いました。いろいろなものにすぐに感動し、なりたいものや夢がころころと変わっていた私が中学生になりました。そして、夢が2つできたのです。

1つ目は、「歌手になること」でした。現在も活躍されている「松山千春」さんという方が、私が中学1年生のときに初めてテレビに出て、ギター1本で「季節の中で」という曲を歌っていました。私はとても感動し衝撃を受けたのです。自分も「ギターが弾けるようになりたい」「人を感動させられるような歌手になりたい」…そう思ったのです。親にギターを買ってほしいと何ヶ月も頼み続けたところ、当時2万円のギターを購入してくれました。それからというもの、時間さえあれば「歌手」を夢見てギターの練習をしました。もう1つの夢は、当時放送されていた「金八先生」の影響、そして私が出会った先生方の影響で「中学校の教師になること」でした。そのためには進学し教員免許を取らなければと必死で勉強しました。

それから私は、この2つの夢を持ち続け、高校、大学と進みました。最終的には、中学校の教育実習に行き、「素敵な子ども達と関わる素晴らしい仕事」「大変だけどとてもやりがいのある仕事」だと思い、「教師」になることを決意しました。ある意味、私は中学校からの夢を実現させたのです。一方で、「歌手になる」という夢は実現しませんでした。しかし、そこに向かって取り組んだことは決して無駄にはなっていません。おかげで、私は毎年3学期最後の学活では子ども達にギターを弾いて歌を聴いてもらうことができました(無理矢理聴かせている部分もあるかもしれませんが、結構喜んでくれたり泣いてくれたりしました)。

始業式でも話したように、まずは「夢や目標を持つこと」そして、それに向かい「忍耐強く」「粘り強く」「注意深く」「誠実に」頑張っていくことはとても大切なことだと思います。その頑張りが、自分自身の「人間力」を高め、「生きる力」を培っていくことにつながると思います。

少し前になりますが、バルセロナオリンピック銀メダリストの有森裕子さん(2学期終業式でお話しした小出監督が指導した選手)のお話を聞く機会がありました。そのときにこんなことを話されていました。[以下要約]

- 夢を実現したり、目標を達成するとき練習の積み重ねが大事であるが、そのとき一人では頑張れない。周りの応援や励ましが必要。
- 「こうなりたい」「こうしたい」という目標はどんどん口に出すこと！宣言すること！アピールし、努力していれば、周りが味方してくれる。周りも応援してくれる。
- 短所を短所と思っていたらダメ！短所を長所に変えたり、自分の個性としてとらえ前向きに頑張ることが大切！人と同じじゃなくていい！
- 成功するかしないかは、好き嫌いで決まるものではない！
- 決めたことは絶対に続ける。やめたら何も残らない。ゴールすれば次へ必ずつながる。
- 夢がある人はあきらめない気持ちが必要！夢がない人は絶対に見つけてやる！という気持ちで日頃の生活を送ることが大切。
- チャンスはつかむもの。みんなにチャンスはおとずれる。でも、ぼーとしていたらチャンスにも気づかない。拾った石ころをダイヤに変えるエネルギーをもっていること。そして、みんながやりたがらないものの中に自分の可能性を広げるものがかくれていることがある。  
(有森さんは、みんながあまり選ばない800m走を選んでオリンピック選手になった)
- 明日が来るかは誰にもわからない。だから、一日一日、一瞬一瞬を大事に、全力で頑張ること！！今を精一杯に生きることが大切！

有森さんの言葉を、皆さんはどう思いましたか？よく聞く「当たり前」のことだと感じませんか？そうです。その「当たり前」の大切なことを続けた人が大きな「実績」「業績」を残すということなのです。だから特別ではないのです。ニュートンであれ、有森さんであれ、小出監督であれ、そして誰だって同じ事なのです。当たり前と思うような小さな「積み重ね」こそが大切であるということです。

令和2年、2020年オリンピックイヤーのスタートです。私は「御陵中の子ども達の笑顔と未来のために」、今年も粘り強く「日々最善」をモットーに頑張ります！

【校長：藤井浩彦】